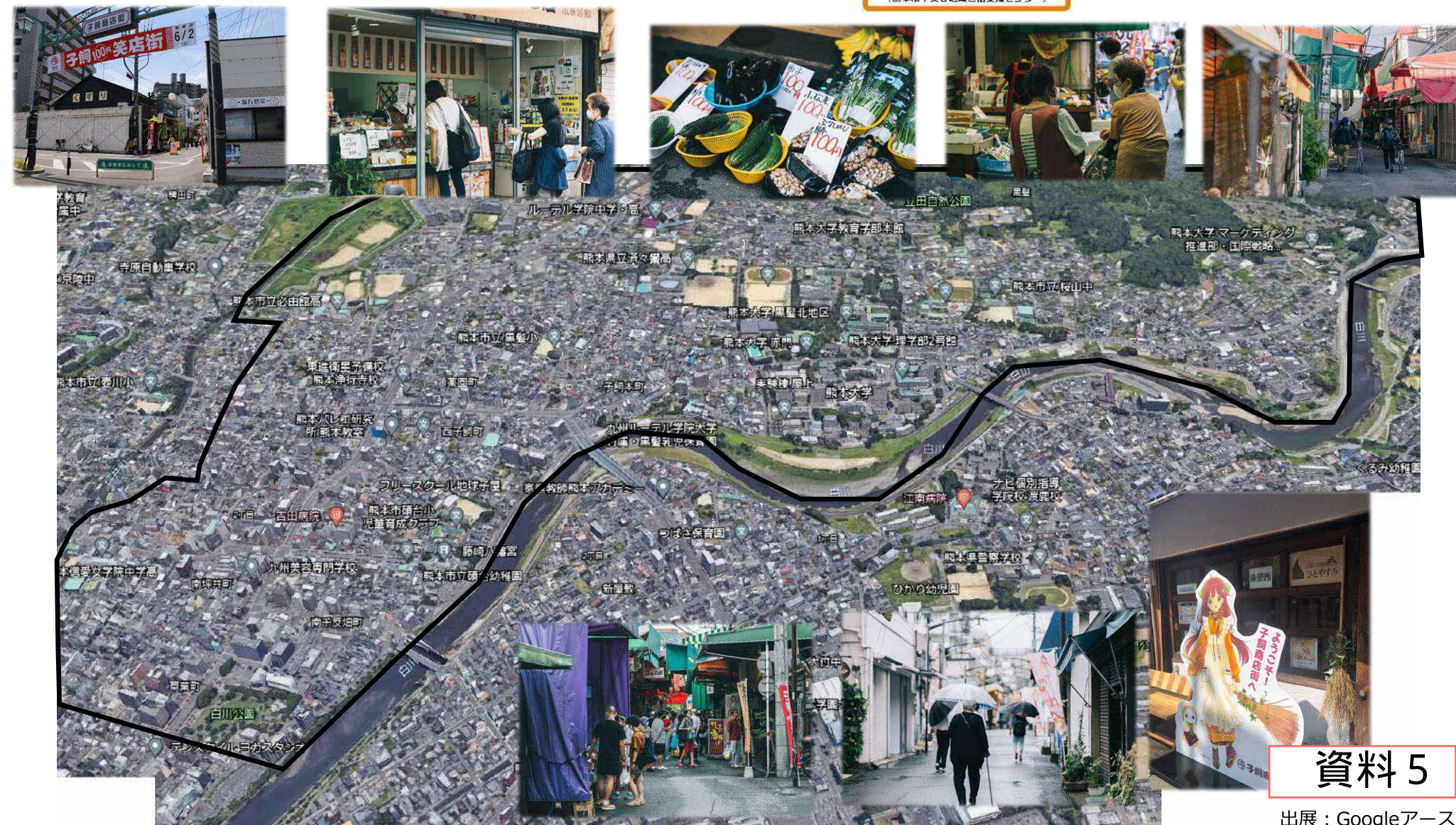


おひとり暮らしでも「自宅で最期を迎えたい」と話せる地域づくり

熊本市中央3日常生活圏域（ささえりあ子飼 圏域）の取り組み

熊本市高齢者支援センター
ささえりあ子飼
〈熊本市中央3地域包括支援センター〉

熊本市中央3地域包括支援センター
社会福祉士 田口 善信



資料 5

出展：Googleアース

中央3日常生活圏域

(黒髪小学校・碩台小学校の通学区域)

人口 約2万3,000人

(水俣市と同規模)



徒歩中心・交通の便利がいい
物価が安い
子飼、下町、情のまち

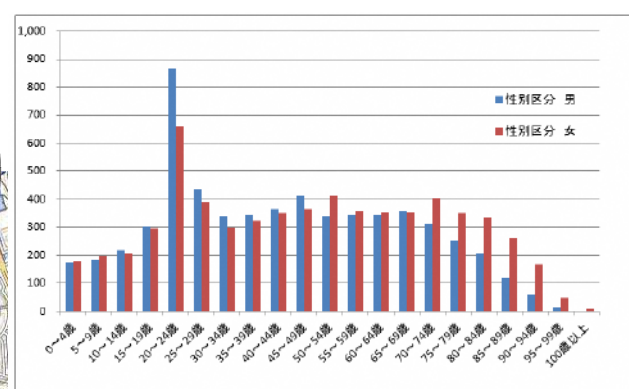
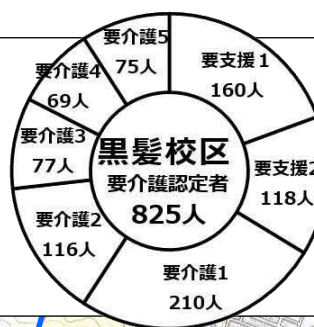
黒髪校区 人口：16,155人

(長洲町と同規模)

高齢化率21%・要介護認定率24%

65歳以上：3,413人
(65歳～74歳：1,575人)
(75歳以上：1,838人)

単身65歳以上世帯：874世帯
要介護・要支援認定者：825人



(参考) 菊陽町
人口：40,348人
高齢化率18%・要介護認定率17%
65歳以上：7,479人
(65歳～75歳：4,067人)
(75歳以上：3,412人)
単身65歳以上世帯：1,008世帯
要介護認定者：1,310人



(特徴)
生活保護基準内の家賃設定のアパートが多い



(生活保護受給世帯に多い傾向)
ひとり暮らし
身寄りや頼れる人が少ない
特定の人と共依存関係
若いころからの障がい・精神疾患
傷ついた経験から助けを求めにくい
孤食・低栄養・嗜好の依存

「助けて」と言えるチカラ **差がある**
資源を活用するチカラ

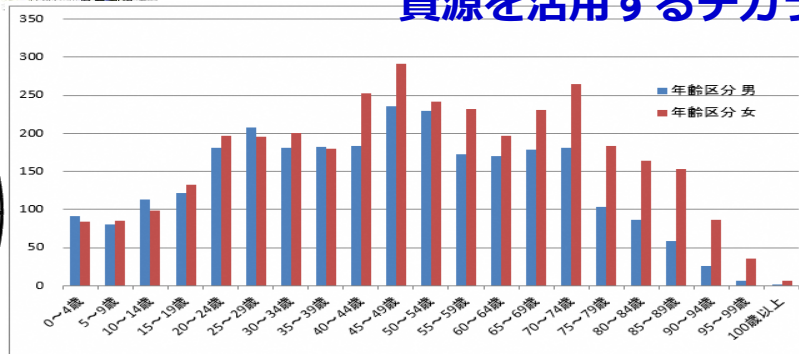
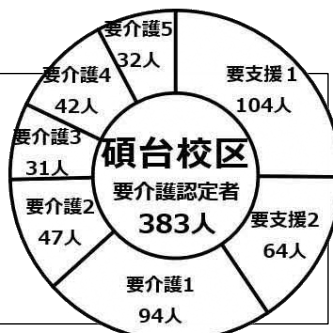
碩台校区 人口：7,002人

(西原村と同規模)

高齢化率25%・要介護認定率22%

65歳以上：1,751人
(65歳～74歳：833人)
(75歳以上：918人)

単身65歳以上世帯：619世帯
要介護・要支援認定者：383人



熊本市中央3地域包括支援センター
ささえりあ子飼
(西子飼町8番18号)

NPO法人熊本YWCA
熊本大学YMCA花陵会
(熊本市中央区黒髪2丁目27)

熊本大学体育館
(熊本市中央区
黒髪2丁目39-1)

黒髪地域コミュニティセンター
(子飼本町15番20号)

スタジオ和創



出展：Googleアース

「子飼」で福祉のまちづくり

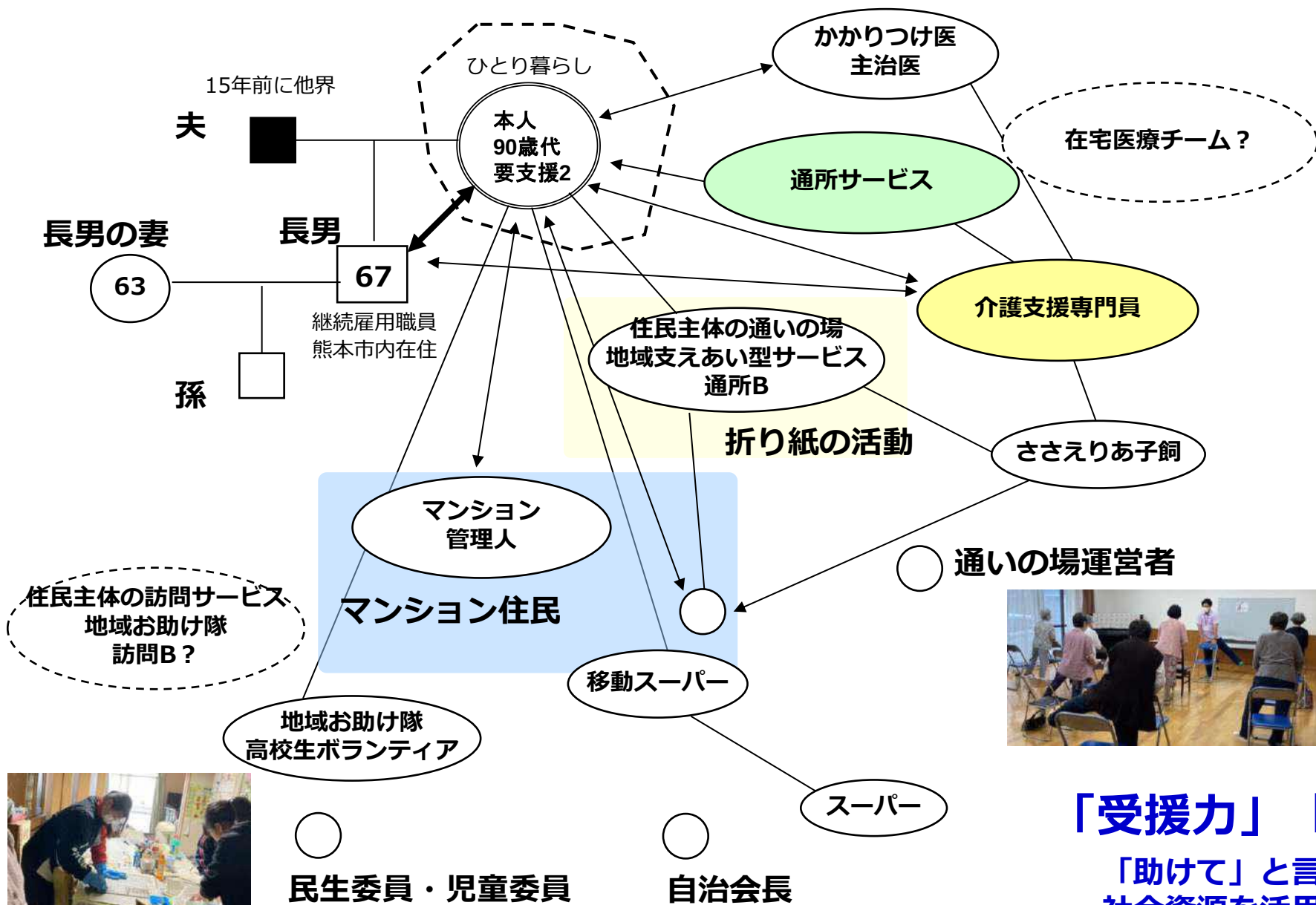
包括的な支援体制の構築

介護予防の通いの場づくり
生活支援の拠点づくり
防災・減災のまちづくり
地域食堂・共食の場づくり
都市型農園・男性の活躍の場づくり
みんなの居場所と出番づくり

碩台地域コミュニティセンター
(北千反畑町5番18号)

レンタルスペース ひとやすみ (西子飼町)

事例：90歳 おひとり暮らし



「受援力」 「活援力」

「助けて」と言えるチカラ
社会資源を活用するチカラ

「おひとり暮らし」約2,000人 受援力・活援力の差



互助・共助が必要

一般的な住民

「受援力」「活援力」を高めておく必要がある

「信頼」「おたがいさま」「意思決定支援」

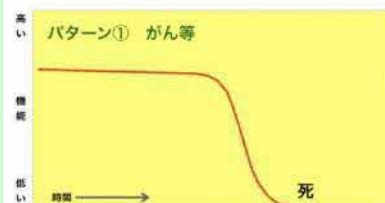
受援力・活援力の差+最期までの過程の違い

過程①

過程②

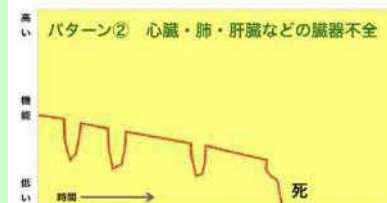
過程③

10%くらい?



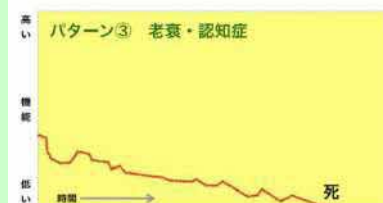
①死ぬ数週間前まで機能は保たれ、以後急激に低下

20%くらい?



②臓器不全が時々重症化しながら長期にわたって機能が低下

50%くらい?



③少しずつ全身の老化が進み、認知症や老衰によって死に至る

金銭的余裕あり
受援力が高い

(特徴)

- ・生活費等に金銭的な多く余裕がある
- ・家族以外の友人や知人と交友が多い
- ・病気や障がいがあっても、頼れる社会資源が多い

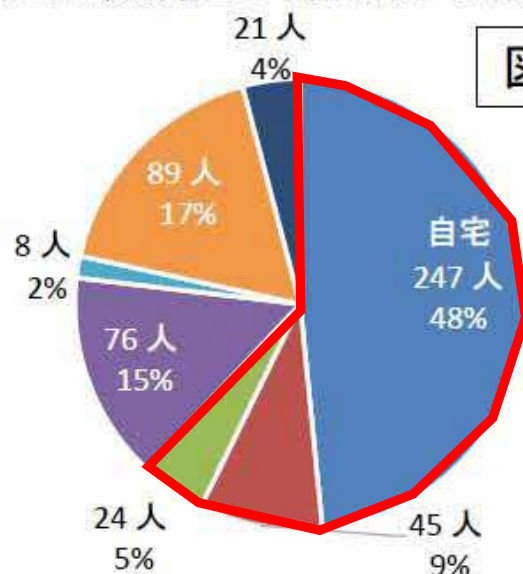
自助で解決



保健医療に関する県民意識調査(令和4年9～10月実施)

あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか？

図3



N=510

■ 自宅

■ 高齢者向け住まい(サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど)

■ 介護保険施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など)

■ 病院又は診療所(有床診療所)

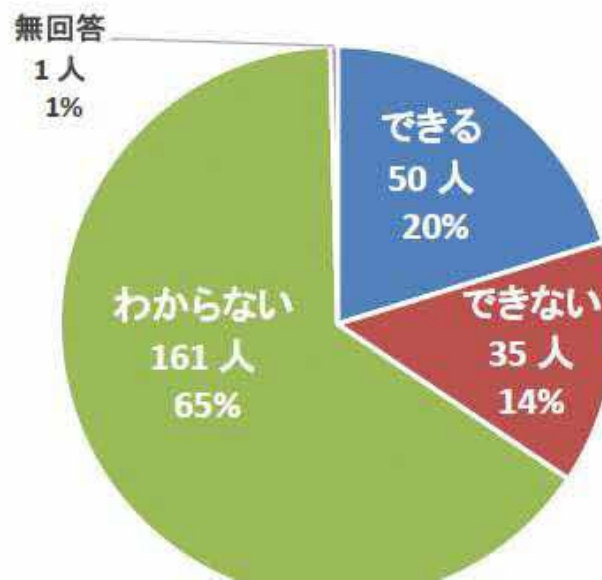
■ その他

■ わからない

■ 無回答

「自宅で最期を迎えたい」と答えた方におたずねします。
あなたは、自宅で最期を迎えることができますか。

図4



N=247

◆図3より、
人生の最期を…
自宅で迎えたい 48%
高齢者向け住まいで迎えたい 9%
介護保険施設で迎えたい 5%
病院または診療所で迎えたい 15%

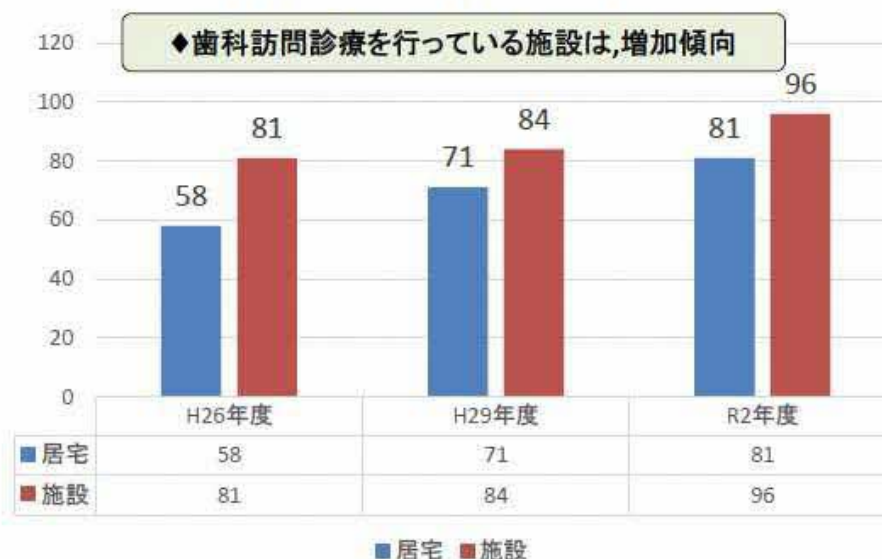
◆図4より
自宅で最期を迎えることができる 20%
自宅で最期を迎えることができない 14%
わからない 65%
※自宅で最期を迎えたいが、自宅で最期を迎えることができるかわからないとの回答が65%と一番多い結果である。

熊本市在宅医療実施状況(厚生労働省 在宅医療にかかる地域別データ集より)

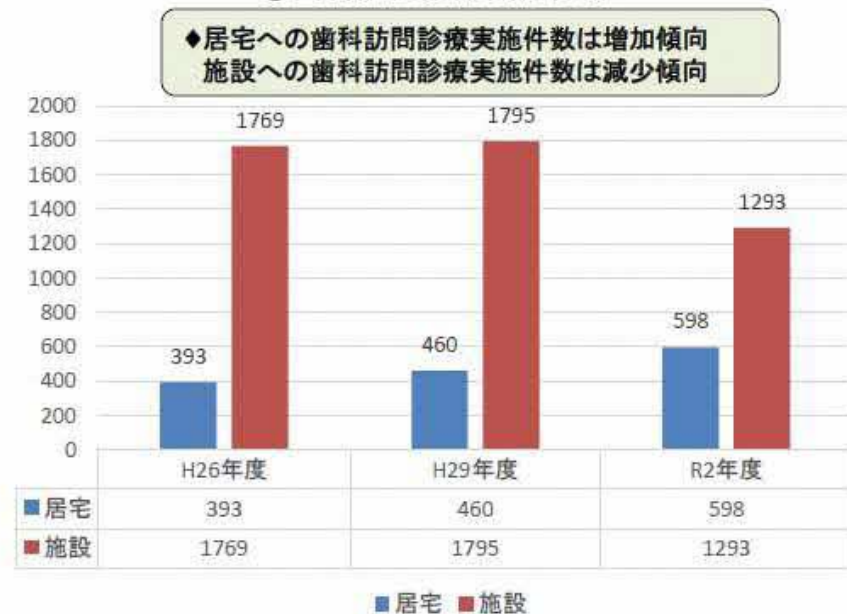
③訪問診療実施件数



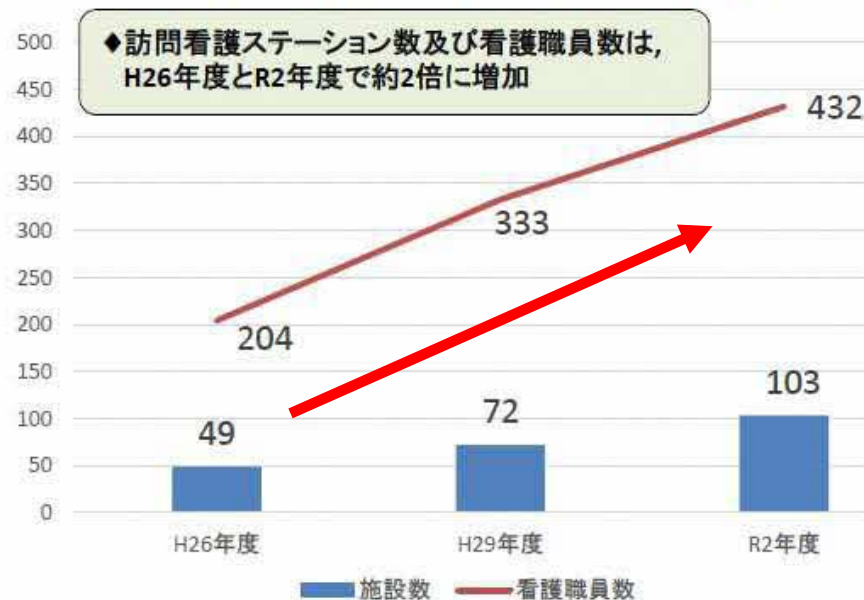
④歯科訪問診療を行っている施設数



⑤歯科訪問診療実施件数



⑥訪問看護ステーション施設数及び看護職員数

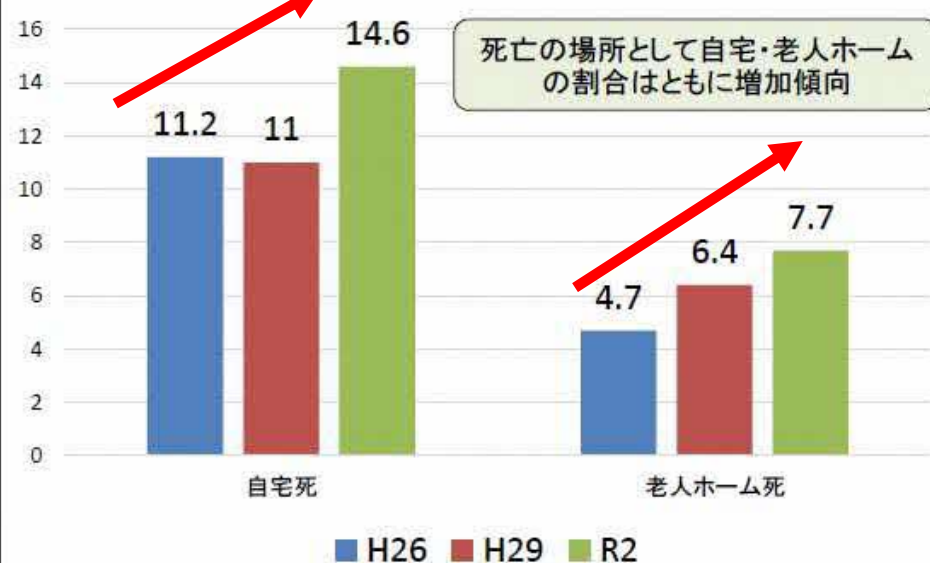


熊本市在宅医療実施状況(厚生労働省 在宅医療にかかる地域別データ集より)

⑦介護療養型医療施設病床数

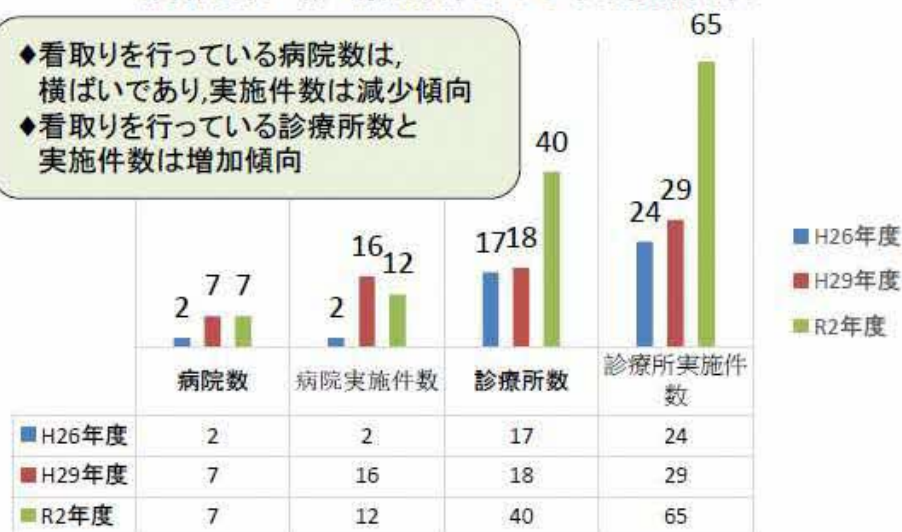


⑧死亡の場所



⑨看取りを行っている 病院数・診療所数及び実施件数

- ◆看取りを行っている病院数は、横ばいであり、実施件数は減少傾向
- ◆看取りを行っている診療所数と実施件数は増加傾向



⑩R2 自宅死の割合(政令市比較)



おひとり暮らしでも「自宅で最期を迎えたい」 と話せる文化を醸成・浸透させることが必要

おひとり暮らしの高齢者の在宅看取りの場面においては、住民・多業職種の協働による生活支援や権利擁護のニーズに対応できる地域づくりが必要

医療専門職

先進的な
NPO法人

意思形成を支援する
終末期医療研究団体等

障がい分野
の支援者

行政
警察・消防

おひとり暮らしで最期まで自宅で過ごせる
地域をつくるために必要な
社会資源とネットワーク

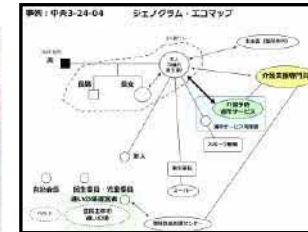
宗教関係者

司法関係

不動産会社
居住支援団体

学識経験者

葬儀社
身元保証
死後事務委任



おひとり暮らしの高齢者の在宅看取りの場面においては、住民・多業職種の協働による生活支援や権利擁護のニーズに対応できる地域づくりが必要

中央区 お互いさまのまちづくり啓発事業

みんなで考えよう おひとり暮らしの 看取り・尊厳死・地域後見

第1回

令和元年8月22日

19:00~20:30 中央公民館



各団体紹介
事例の検討

参加者

住民	22名
多業職種	33名

第2回

令和元年12月19日

18:30~20:30 中央公民館



さわやか長寿財団
「助け合い体験ゲーム」
当事者の立場で
話し合ってみる

参加者

住民	20名
多業職種	30名

準備会議

圏域内居宅介護支援事業所
主任介護支援専門員
訪問看護ステーション等



ファシリテーター役割分担
事例検討

令和2年11月14日、12月5日 「黒髪西地域お助け隊 健康相談会」

令和3年12月4日 「子飼商店街 お困りごと相談会（生活支援ニーズ聞き取り調査）」

第3回

令和4年12月14日

14:00~15:30 はあもにい



ひとり暮らし
体験ゲーム

参加者

住民	17名
多業職種	30名

令和5年9月30日、令和6年2月4日 「食でつながる活動の啓発」
「おすそわけが循環する お互いさまのまちづくり」

第4回

令和6年11月14日

18:30~20:30 はあもにい



対話カード体験

参加者

住民	16名
多業職種	46名

黒髪校区と碩台校区の通学区域に住む住民や関係する多業職種の皆様で集まり、おひとり暮らしの方でも住み慣れた自宅での最期の最期まで過ごし、尊厳のある在宅死を迎えるために必要な支援とは何か、住民・多職種で考えます。お気軽にご参加ください。

日時：11月14日（木）18時30分～20時頃

場所：熊本市男女共同参画センター はあもにいい

2階 多目的ホール（熊本市中央区黒髪3丁目3番10号）

※対象：18歳以上の黒髪小と碩台小の通学区域に住む住民

関係する多職種・多業種のみなさま

内容・プログラム

18：00～ 受付開始
18：30～ 開会挨拶・説明
18：50～ 対話カード体験
19：20～ 全体での共有
19：55～ 閉会挨拶・アンケート記入

家で死んだら
家に警察が来る？

死後の事務は
誰がする？

みんなでおひとり暮らしの将来のこと、考えてみましょう！

おひとり暮らしの看取りに必要な条件

医療法人の森 理事長 永井康徳「たんぽぽ」チャンネルより

- ① 本人も家族も自宅での看取りを望んでいる
- ② 点滴・人工栄養をせず、食べたいものを食べる
- ③ 亡くなる瞬間は誰もいないことを理解する

参加予定の方

対象：黒髪校区・碩台校区の住民の皆様
医療・介護・福祉の専門職、社協、行政職員等
学識者や司法関係者、学生
葬儀社や不動産会社、宅配業者等の民間事業所
ひとり暮らしの生活や意思形成を支援する団体

※事前に電話、FAX、参加フォーム入力、E-mailで申し込みをお願いします。

※申込みが定員に達した場合、申し込みを締め切る場合があります。ご了承ください。

※併設（裏）の駐車場は有料（200円／1回）です。離れた場所に無料駐車場が第1～第3まであります。

※この研修会は「熊本市主任介護支援専門員更新研修」の受講個別要件となる「研修」として修了証を発行します。

参加申込み FAX：096-243-2232

※申し込み締切り 11月11日（月）まで

氏名	校区・所属	連絡先（電話番号）	修了証
			必要・不要



申込みフォーム

内容等は、お気軽にご問合せください 096-243-2233

担当：田口 <https://forms.gle/2WkgvYDFusqjMc66>
E-mail: jougyouji@xa2.so-net.ne.jp

日時：令和6年11月14日（木）18:30～

場所：熊本市男女共同参画センター はあもにいい

対象：18歳以上の黒髪小と碩台小の通学区域に住む住民

関係する多職種・多業種のみなさま

内容：第4回 みんなで考えよう

おひとり暮らしの看取り・尊厳死・地域後見

プログラム

18：00～ 受付開始

18：30～ 開会・説明

18：50～ 対話カード体験

19：20～ 全体での共有

19：55～ 閉会挨拶・アンケート記入

主催：熊本市中央3地域包括支援センター ささえりあ子飼

助成：熊本市中央区役所 福祉課

協力：黒髪校区社会福祉協議会・碩台校区社会福祉協議会



対話カード 「最期はどぎゃんする？」



設定 いろいろあって、
あなたは今、ひとり暮らし。
大切な人とは別に暮らしています。
余命は半年。今日から半年。
あなたは何を大切にしたいですか？

- 参加自由・他者の考えを批判しない
- お互いの価値観を尊重する
- 言いたくないことは言わなくてよい
- 1人でずっとしゃべらない
- 価値観は変化するもの。
そのときの気持ちでOK

「最期はどぎゃんする？」

- ① 8枚のカードからあなたが大切にしたいこと
3枚を選びます。
- ② 3枚を選んだ理由をグループで共有します。

